



TOKYO NEWS FLASH

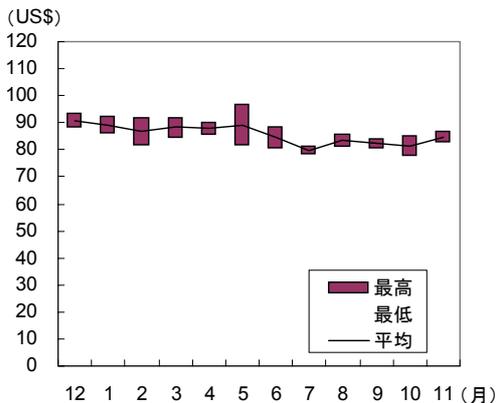
米国食肉輸出連合会 (USMEF)

Volume 230 December 9, 2002

米国食肉市場ニュース

～ 牛肉 ～

去勢牛の 100 ポンド (約 45kg) 当たりの価格
(オクラホマシティー・体重 600～700 ポンド)



資料 : Cattle-Glenn Grimes & Ron Plain

- 注 : 1. 2001年12月～2002年11月までのデータ
 2. 該当月の第1週のデータより作成 (2002年1・9月を除く)
 3. 2002年9・11月の価格はイヤリングビーフ (若齢牛) による

牛肉市況 (11月18～22日)

- **週間と畜頭数 :**
67万8,000頭 (前年比14.9%増)。
- **枝肉重量の動向 :**
11月第2週の平均重量は、831ポンド(約376.94kg)で前年同期比わずか2ポンド(約0.9kg)増にとどまった。未経産牛では、昨年7月以降初めて前年の水準を下回った。今年10月までの年間平均値を見ると、去勢牛は前年比3.4%(27ポンド:約12.2kg)、未経産牛は同2.9%(21ポンド:約9.5kg)それぞれ増加。未経産牛のと畜重量が増加しているため、年間と畜頭数が前年比1.1%増と低いレベルで推移しているにもかかわらず、牛肉の年間生産高は前年を3.9%上回っている。
- **牛肉の輸出動向 (9月まで) :**
最大の輸出相手国である日本への輸出が激減したにもかかわらず、前年同期比10.6%増。対韓国輸出が同118.8%と飛躍的に伸び、対日輸出の減少分(同27.3%減)を補ってありあまる。対メキシコ輸出は同25.5%、対カナダ輸出は同2.5%、それぞれ増加。

- **牛肉の冷蔵在庫 (10月末日現在) :**
前年同期比32.7%増の5億2,400万ポンド(約23万7,686トン)で、過去32年間で最大。
- **肥育牛の取引価格 (100ポンド [約45kg] 当たり) :**
今週も堅調で、去勢牛は1.00～3.00ドル高。主要5地域における去勢牛の週間平均取引価格は、生体ベースで70.86ドル(前週比1.61ドル高)、枝肉ベースで111.34ドル(同2.34ドル高)。

- **牛肉の枝肉相当価格 (1ポンド [約0.45kg] 当たり) :**
今週は、チョイスは前週比7.5セント高、セレクトは同約8セント高で推移。22日正午の価格は、チョイスが1.2081ドル、セレクトが1.1464ドル。

オクラホマシティーにおける去勢素牛の体重別、
100ポンド(約45kg)当たりの価格 (US\$)

体重 (ポンド)	11月18～22日
400～500	95.75～109.50
500～600	84.00～98.00
600～700	77.00～86.50
700～800	82.00～86.00
800～1000	74.00～85.50

(Cattle-Glenn Grimes & Ron Plain, 11/22/2002)

～ 豚肉 ～

豚肉市況 (11月18～22日)

- **週間と畜頭数 :**
204万4,000頭 (前年比14.8%増)。年間累計では、と畜頭数は前年比2.6%増、牛肉生産高は同2.9%増。
- **枝肉重量の動向 :**
今秋も例年通り、と畜重量が増加。11月第2週の去勢豚・未経産豚の枝肉重量は、平均195ポンド(約88.5kg)で、8月第1週に比べて7ポンド(約3.2kg)増加したが、10週連続で前年同期を下回った。生産者側の前倒し出荷によって、例年11月に発生する「と畜不足」が未然に防がれたと言える。

● **豚肉の輸出入動向：**

輸出高は、11年連続で過去最高となる見通し。9月単月では前年比27%増。第3四半期までの年間累計では、同3.6%増。対日本・カナダ・韓国輸出はそれぞれ増加したが、対ロシア・メキシコ輸出はそれぞれ減少。一方輸入は、カナダ産豚肉の輸入増加により前年比12%増。9月までの年間累計で見ると、輸出高が輸入高を55%上回っている。米国の年間豚肉生産高に占める輸出高の割合は、8.0～8.5%に達すると見られる。

● **豚肉の冷蔵在庫 (10月末日現在)：**

前年比14.3%増に留まっている(9月末は同30.9%増)。ただし在庫量は4億9,200万ポンド(約22万3,171トン)にのぼり、過去40年間で最大となった。

● **肉豚の現金取引価格：**

前週と同じないしは1.00ドル高。

● **豚肉の製品価格**

(22日正午/1ポンド [約0.45kg] 当たり)：

21ポンド(約9.5kg)以下のロイン(トリム：4分の1インチ)は、前週比0.39セント安の82.11セント。17～20ポンド物(約7.7～9.1kg)のハムの卸売価格は、同2.54セント安の61.5セント。ポストンバットは同1.4セント高の53.28セント。12～14ポンド物(約5.4～6.3kg)のベリーは、前週と変わらず76セント。

主要市場における100ポンド(約45kg)当たりの最高価格(US\$)

	11月22日
ペオリア	26.50
セントポール	27.50
スーフオールズ	28.00
ミズーリ中央部	26.00

185ポンド物(約83.5kg)の枝肉平均価格(US\$)

	11月22日
東部トウモロコシ地帯	37.31
西部トウモロコシ地帯	37.07
アイオワ・ミネソタ	37.28
全国	37.25

(Hogs-Glenn Grimes & Ron Plain, 11/22/2002)

業界ニュース

世界豚肉会議でトップクラスの実業家が講演

来年6月にイギリスで開かれる世界豚肉会議(World Pork Congress)で、国際的に活動するトップクラスの実業家が多数講演する予定だ。この会議は世界食肉会議(World Meat Congress)の分会で、講演者を含めて世界中から少なくとも300人が、バーミンガムの国際会議センターに集う。講演者の人選はブリティッシュ・ピッグ・エグゼクティブ(BPEX)、食肉家畜委員会および国際食肉事務局(International Meat Secretariat)が行っている。「世界市場を勝ち抜くには」というテーマの下、米国、カナダ、日本、ロシア、イギリスなど計13カ国からの講演者がスピーチを行う予定である。

(MEATnews.com, 11/26/2002)

食肉の原産国表示制度の費用、20億ドル USDA 試算

自主表示制度のスタートを来年に控えた米農務省(USDA)は、原産国表示義務制度の施行にあたって、家畜・食肉業界が初年度に負担する費用は20億ドル近くに上るという試算を発表した。

小売の食肉、魚類、落花生に原産国を表示するこの制度は、2004年9月に義務化される。原産国表示法の下で「米国産」と表示できるのは、米国内で出産・肥育・と畜した家畜の食肉だけである。

USDAの試算は、昨年議会で成立した表示法に従って新しいシステムを導入し、実際に記録管理を行った場合に、家畜・食肉業界が初年度に費やす時間を金額に換算したもの。それによると、農場・牧場経営者や製品の生産者が約10億ドル、パッカーおよび流通業者が約3億4,000万ドル、小売業者が6億2,800万ドルで、合計20億ドル近くに上る。

また、表示ラベル、設備、家畜・食肉の隔離、家畜の識別システムなどの費用は別途必要となる。

(Meat and Poultry Online, 11/25/2002)